

1 施設の管理運営について

(1) 運営の基本方針

- ① 貴重な歴史文化資源を親しみやすく活用し良好な状態で次世代へ受け継ぐ。
- ② 施設の魅力である「庭屋一如」「四季折々」の精神で、庭園と建物の一体感ある管理運営を行う。
- ③ 日々の運営や普及事業により、古くから湊町として栄えた新潟の魅力を内外に発信し、交流の推進を図る。
- ④ 西大畑エリアの観光拠点として、他のエリアとの連携を進め地域全体の活性化を図る。
- ⑤ 文化施設、地域団体やグループとの連携をより一層進め、市民文化の創造を図る。
- ⑥ 今までに培ってきた経験をもとに市民や利用者の要望に応え、一層のサービス向上に努める。
- ⑦ 行政の代行者として、民間の弾力性柔軟性をもって運営にあたるという指定管理者制度の基本を健全に全うする。
- ⑧ 特定の団体や事業に傾倒せず、公平公正な運営を推進する。
- ⑨ 効率的な運営を心掛ける。
- ⑩ 国指定名勝として質の高い維持管理をする。

施設の歴史的・文化的な価値を十分に理解し、「新潟市旧齋藤家別邸の管理に関する基本協定書」、「新潟市旧齋藤家別邸の指定管理に関する年度協定」に従い、関係法令及び条例等を遵守の上で適正に管理運営を行います。

(2) 庭園維持管理

平成27年(2015)に国の名勝指定を受けており、これまでにまとめられた旧齋藤氏別邸庭園保存管理・整備基本計画報告書等に基づき、作庭意図を尊重し本質的価値の継承に努めると共に、新潟市が誇る文化財を安全で良好な状態で市民に提供していくよう配慮して維持管理を行ってまいります。なお、今年度、国指定名勝としての保全活用計画の検討をすることとなっており、その検討内容を反映させつつ維持管理を行ってまいります。

- ① 自然主義の作庭意図を尊重して庭園管理を行います。
 - 玄関庭部：表玄関の前庭に相応しい格式を重視した景観を維持します。
 - 中庭部：良好な沿道景観を提供しつつ、重くなり過ぎない樹幹を形成します。
 - 池泉・芝庭部：砂丘斜面をパノラマ的に見渡せる開放的な空間性を維持する

と共に、季節ごとの特徴を活かしていきます。

- 砂丘斜面部：自然主義を基調としたモミジ類とマツ類を主構成樹種とした美林の維持を行います。
- 茶庭部：暗くなりすぎないように密度管理すると共に、根上がり松を保存していきます。

② 庭園での発生が想定される虫菌害に対して事前対応します。

③ 利用者に安全で快適な空間を提供します。

- 庭園の管理作業の際、利用者の安全確保に最大限留意します。
- 害虫の発生対策を行い快適な空間を提供します。

④ 維持管理作業の工程

| 作業項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 芝エアレーション目土散布 | | | | | | | | | | | | |
| アカマツ、ツツジ類剪定 | | | | | | | | | | | | |
| マツクイムシ防除薬剤散布 | | | | | | | | | | | | |
| マツ葉ふるい病予防作業 | | | | | | | | | | | | |
| ヤブ蚊防除薬剤散布 | | | | | | | | | | | | |
| 池清掃 | | | | | | | | | | | | |
| クロマツ剪定 | | | | | | | | | | | | |
| 高木枝おろし | | | | | | | | | | | | |
| 冬囲い | | | | | | | | | | | | |
| かがらみ等防除薬剤散布 | | | | | | | | | | | | |
| 冬囲い撤去 | | | | | | | | | | | | |
| 施肥 | | | | | | | | | | | | |

(3) 運営に関する業務

- ① 適切な人員配置を行い、お客様視点を心掛けた業務を行います。
- ② 業務研修は内容に応じて繰り返し行います。他施設との研修や交流も継続して進めます。
- ③ 苦情を申し立てる人の立場に立って聞く姿勢を徹底することにより、苦情の申し立てやすい環境を常に維持します。
- ④ 苦情やご意見には迅速かつ適切に対応します。
- ⑤ 公開・活用と保護・保全のバランスをとった業務を行います。
- ⑥ 庭園に関する伝統技術の継承を意識した業務を進めます。

2 事業内容

(1) 企画展示の開催

- ① 2016年3月24日(木)～4月9日(土)
假屋崎省吾の世界展
- ② 2016年5月3日(火)～5月8日(日)
アート・ミックス・ジャパン 鋳起銅器×輪島塗×有田焼 展示
- ③ 2016年5月31日(火)～6月26日(日)
村山雨景展 手描き友禅とろうけつ染めによる職人絵の世界
- ④ 2016年7月26日(火)～8月18日(木)
新潟湊の繁栄と芸術
- ⑤ 2016年11月1日(火)～11月23日(水)
写真展「鉄道風景 去りゆく115系」×「車両陸送を追う」
- ⑥ 2017年1月4日(水)～1月29日(日)
新春 縁起物展
- ⑦ 2017年2月21日(火)～3月20日(月)
北前船の贈り物 湊にいがた雛人形展

(2) 常設展示

旧齋藤家別邸の概要について、グラフィックパネルや旧蔵資料等で紹介します。

(3) 庭園や地域文化を核とした催し物の開催

- ① 2016年7月1日(金)～7月18日(月)
旧齋藤家別邸 七夕
- ② 2016年10月22日(土)、23日(日)
新潟 竹あかり花あかり
- ③ 2016年11月中旬から下旬の土日(詳細日未定)
紅葉ライトアップ

(4) 講座・講習の開催

複数開催(定期・継続)

- ① 日本庭園・数寄屋風のみかたセミナー(年間40回程度)
- ② 庭と季節と文学(年間4回程度)
- ③ 和菓子作り教室(4回コース・年間2回)

随時開催

- ① 明治大正の行形亭に来訪した著名人(5月・1回)
- ② ツツジ花びら染め講習(6月・1回)

- ③ 苔玉作り講習（8月・2回）
- ④ 多肉植物盆栽講習（9月・1回）
- ⑤ 石張り講習（10月・1回）
- ⑥ ダリア花びら染め講習（11月・1回）
- ⑦ 雪吊り講習（11月・1回）
- ⑧ 門松（小）作り講習（12月・1回）
- ⑨ 門松（大）作り講習（12月・1回）

（5）ボランティアグループの運営

引き続き、庭園作業と施設ガイドのボランティアを募集し一定の研修の上で活動に携わっていただきます。また、随時勉強会や親睦行事を実施します。

3 開館予定（詳細別添）

繁忙期は条例で定められた休館日を臨時開館し、来館者数と歳入の向上、市民サービスに努めます。（年間：開館 307 日、休館 58 日）